

みどり樹

特集1 / トビタテ! 留学 JAPAN 「地域人材コース」座談会

グローバル人材の
育成を目指す山形と海外の
Wインターンシップ。

特集2 / スマート・テロワール・プロジェクト

地域一体、農工連携で目指す
循環型の食料自給圏モデル。



Spring
2019

vol. **75**

各学部からさまざまな話題や近況が届きました。
山形大学の多方面での活動、活躍にご注目ください。

医学部

Faculty of Medicine

東北・北海道地区で初、 医学教育分野別評価で 評価基準に適合認定

医学部は、2018年11月29日(木)付けで、日本医学教育評価機構から医学教育分野別評価の評価基準について適合の認定を受けました。これは東北・北海道では初めての認定です。日本医学教育評価機構は、世界保健機構(WHO)の関連組織である世界医学教育連盟(WFME)が定めた国際基準に基づいて認定を行う国内唯一の組織で、今回の認定は山形大学医学部の教育の質が国際水準に達していることを示すものです。

評価では、カリキュラムや学生の評価方法など9つの領域で一定の水準に達していることが要求されます。山形大学医学部では2年前から国際認証の認定を得るべく準備を進めており、自己点検評価書の提出や実地調査を経て、今回の認定に至りました。12月には本件に関する記者会見も開催し、医学教育分野別評価の仕組みや山形大学が受審した内容、評価報告書で高く評価された点などについて説明を行いました。



工学部

Faculty of Engineering

工学部「白楊寮」が 生まれ変わりました



工学部の新学生寮「白楊寮」の入居が、2019年4月に開始しました。学生が快適な生活環境のもとで学習・研究に取り組むことができるようにと、2018年3月から建設工事がスタートし、約1年をかけて完成したものです。

旧学生寮では男子学生のための受け入れでしたが、新学生寮は本学部で初めて女子学生や留学生の受け入れも行っています。全室ユニットバス・ミニキッチン完備のプライバシーを尊重した完全個室で、24時間365日受付可能なコールセンターも備わっており、セキュリティを確保した安心安全の新しい寮に生まれ変わっています。また、学生同士が自由に交流し合える環境としてコミュニティスペースやラウンジが設けられているほか、希望する学生を対象に食事を提供する食堂も整備。工学部がある米沢キャンパスからの距離も近く、通学にも便利な新・白楊寮で、多くの学生が充実した学生生活を送れるように支援していきます。

農学部

Faculty of Agriculture

小学生対象「森の学校」 (第3回)を開催

2019年2月、農学部附属やまがたフィールド科学センター上名川演習林で、小学生対象の体験学習「森の学校」(第3回)を開催しました。このイベントは、演習林での体験学習を通じて多様な自然の姿を理解し、地域の小学生に森林への興味をもってもらいたいという思いから、例年開催している大学演習林開放行事です。

今年度3回目の実施となった今回のプログラムのテーマは、「雪と遊びながら冬の森を体験しよう!」。小学生16名のほか、ボランティアとして鶴岡北高等学校、酒田西高等学校の生徒や農学部ボランティアサークル「森の民」のメンバーも集まり、総勢54名でのイベント開催になりました。連日の降雪で、一面の銀世界となった広大なフィールドに、子どもたちは大はしゃぎ。たっぷり積もった雪の中で、積雪の観察やかんじき歩行体験、かまくら作りやスノーモービル体験など、寒さにも負けず、一日中元気いっぱい楽しんでいました。

